

「お金が入っている箱」と「本当の事が書いてある注意書き」をきちんと区別して考えるのがポイント。
本当の事が書いてある注意書きが1つだけという事は他の2つの注意書きは嘘を書いている事になる。

Aの注意書きが真実の場合

Aの注意書きが真実の場合、Aの箱の中にお金が入っている事になる。
しかし、そうするとお金が入っていないBの注意書きも真実となってしまう。
よって、Aの注意書きが真実である事は有り得ない。

Bの注意書きが真実の場合

Bの注意書きが真実の場合、Aの箱・Cの箱どちらかにお金が入っている事になる。
Aの箱にお金が入っている場合、Aの注意書きも真実となってしまうのでAの箱にお金が入っている事は有り得ない。
ではCの箱にお金が入っている場合、Cの注意書きが真実となってしまうのでCの箱にお金が入っている事も有り得ない。
よって、Bの注意書きが真実である事は有り得ない。

Cの注意書きが真実の場合

Cの注意書きが真実の場合、Bの箱・Cの箱どちらかにお金が入っている事になる。
Cの箱にお金が入っている場合、Bの注意書きも真実となってしまうので成り立たないが、
Bの箱にお金が入っている場合、AもBも嘘の注意書きを書いている事が成り立つ。

よって、Cの注意書きが真実を書いてあり、そしてお金が入っている箱はBが正解となる。